



3/14 へしこ作り体験

食文化館で行われましたマイたるを使うへしこ作りに10人が挑戦しました。ボランティアグループ「かけはしサーポーター」の指導で、3月7日に背開き、塩漬けた10匹のサバをぬか漬けにしてみました。へしこは11月下旬から12月上旬に食べごろを迎えるそうで、参加者はそのときを楽しみにマイたるを自宅に持ち帰りました。



3/14 市民ミュージカル

配役から音楽、舞台のセットなどすべて市民らの手作りのミュージカル「大切な人 回転木馬 in 小浜」が文化会館で行われました。19世紀のアメリカを舞台に家族への愛と人と人との絆をスタッフ約100人がみごとに演出し、満員の観客からは惜しめない拍手が送られました。



3/13 シカ肉試食会

有害駆除されたシカの肉を有効活用するため、講演会とシカ肉を使った料理の試食会を食文化館で行いました。参加した約50人は講演会の後、商品化されているエゾシカと地元のシカ肉を使ったカツ丼やソーセージ、ギョーザなど10品を食べ比べました。

2/26 伝承遊び

遠敷保育園に園児の祖父母50人が訪れ、園児と昔ながらの遊びを楽しみました。祖父母らは童心に帰ったようにけん玉やコマ回し、あやとりなどのお手本を披露。うまくできない園児がいれば、丁寧にやり方を教えていました。園児らは、祖父母がいることでいつも以上に元気にはしゃいでいました。



3/2 お水送り

若狭に春の訪れを告げる「お水送り」が神宮寺、鵜の瀬周辺で営まれました。「山八神事」から始まる一連の神事は、「修二会」「弓打ち神事」「達陀」と進んでいきます。「松明行列」が鵜の瀬へ到着するとクライマックスの「送水神事」へ。神宮寺の山河住職が送水文を読み上げ、お香水を遠敷川に注ぐと辺りは幻想的な雰囲気になりました。



3/1 オイケモノ神事

国選択無形民俗文化財の「オイケモノ神事」が加茂神社（加茂区）で営まれました。1年間地中に埋めた木箱を掘り起こして、その中のドングリヤシイなど7種類の植物の芽立ち具合で五穀の豊凶を占う神事で、竹中一道区長が確認。「箱をぶち破るほどの木の実の息吹を見ることができた。今年も豊作間違いなし」との判定に、周囲から拍手が起きました。